

■ 2025・3 プラン寄付活動の実績分析をしました

3月の

社会貢献活動の

お知らせ

3月は、30年以上の実績のあるプラン寄付活動の実績分析をしました。

これからも第1の柱である就学困難児対策として、より成果のあるプラン寄付活動を続けたいと願っています。

投稿日 2025年3月6日

投稿者 理事・社会貢献活動担当 田代和嘉 ・ 佐々本幹夫

■ 3月は、プラン寄付活動の実績分析をしました

社会貢献活動は、来期、つまり、次年度の準備を始めています。

そのため、役員会では、2月から3月にかけて、2024年度活動実績を総括しています。正式な「2024年度社会貢献活動報告」は次総会にて議案書として報告します。

放送大学神奈川同窓会の皆さん、こんにちは。

3月の社会貢献活動をお知らせします。

3月は、プラン寄付活動の実績分析を報告します。

「プラン寄付活動」とは、社会貢献活動の第 1 の柱である「就学困難児対策」として、公益財団法人「プラン・インターナショナル・ジャパン」のチャイルド支援を通して、途上国の就学困難児の子どもたちの健やかな成長と就学環境を整えるための寄付活動の略称です。

神奈川同窓会は、同窓会設立以来 30 年以上の長きにわたり社会貢献活動として「プラン寄付活動」を続けています。改めて、先輩方々のご努力と、寄付されたお一人おひとりに感謝申し上げます。

「チャイルド支援」は、プラン・インターナショナル・ジャパンの寄付支援形態の 1 つ「プラン・スポンサーシップ」の略称です。神奈川同窓会は、2019 下期より支援チャイルドを 5 名から 6 名に増やし、プラン・スポンサーシップ(5,000 円/1 人 1 か月 , 60,000 円/1 人 1 年)にて寄付活動を行っています。

1 途上国の 5 か国 6 名の子どもたちを寄付で支援しています

2025 年 1 月現在、2024 年度は、5 か国 6 名の子どもたちを寄付で支援しています。

| 国名 | お名前 | 性別 | 年齢 | 備考 |
|----|-----|----|----|----|
|----|-----|----|----|----|

.....

▼2024 年度(2025 年 1 月現在)

| | | | | |
|---------|------------|---|----|--|
| エクアドル | Johanna | 女 | 15 | |
| エクアドル | Oswaldo | 男 | 12 | |
| バングラデシュ | Mst Sahara | 女 | 10 | |
| フィリピン | Lebron-Jay | 男 | 9 | |
| ベナン | Fabrice | 男 | 13 | |
| マリ | Kaniba | 女 | 13 | |

プラン・インターナショナルからは、「(支援の子どもが住まう)地域の一年の歩み」レポートが送られて来ます。レポートは、役員会に報告され、議事録に記録されていますが、これからは、この「社会貢献活動のお知らせ」を通して、皆さんへ報告する予定です。

2 就学困難児対策の視点から、「本当に役立っている！」との再確認を

しました

世界の子どもの福祉向上のため国連が 1954 年に定めた「世界子どもの日」にあたる 2024

年 11 月 20 日、ユニセフ(国連児童基金)は、基幹報告書「世界子供白書」の最新版を発表しました。ユニセフ事務局長のキャサリン・ラッセルは、「子どもたちは、気候ショック(変動がもたらしている危機)からオンラインのリスクまで、数え切れないほどの危機に直面しています。そして、それらの危機は今後さらに深刻化します」と述べています。

白書は、「今日、世界のリーダーたちが下す決断、あるいは下し損なった決断が、将来子どもたちが受け継ぐ世界を形作る」と述べています。

プラン・インターナショナル・ジャパンの 2024 年 05 月 29 日更新の記事でも、「これまでの取り組みで学校に通える子どもの数は増えてきましたが、2021 年時点でいまだに約 6700 万人の子どもが小学校に通えていません。特にアフリカでは貧困により学校に通えない子どもが多く、支援が必要です。アフリカの教育問題を解決することが、世界の教育水準を向上させる重要な一歩となります」とあります。

そこで、社会貢献活動の第 1 の柱に掲げる「就学困難児対策」の視点から、「本当に役立っている!」との再確認と、更なる成果向上策を検討することを目的に、プラン寄付活動の実績分析を行いました。

3 「ODA(政府開発援助)受取額」と「後期中等教育修了率」という 2 組

の対応するデータの関係を共分散手法で分析しました

2024 年度のプラン寄付活動チャイルド支援国を対象に、プラン・スポンサーシップという寄付プログラムの上位公的プログラムである「ODA(政府開発援助)受取額」と「後期中等教育修了率」という 2 組の対応するデータの関係を共分散手法で分析しました。

「ODA(政府開発援助)受取額」が高いほど「後期中等教育修了率」が高い傾向にあるのか?あるいは「ODA(政府開発援助)受取額」と「後期中等教育修了率」は関係ないのか?などが分析できます。

共分散は、「X の偏差」×「Y の偏差」の平均なので、

共分散が大きい(正)ときは、Y も大きい傾向があると推定されます。

共分散が 0 に近いときは、X と Y にあまり関係はないと推定されます。

共分散が小さい(負)ときは、Y は小さい傾向にあり、X と Y にあまり関係はないと推定されます。

● 実際の共分散の計算項目と計算結果は次の通りです。

チャイルド支援国

ODA 受取額*1

後期中等教育修了率*2

| | 単位:一万 US\$/一千人当たり | 単位:%男女平均 | 男 % | 女 % |
|---------|-------------------|----------|-----|-----|
| エクアドル | 3.12 | 78.5 | 78 | 79 |
| バングラデシュ | 3.36 | 29.5 | 32 | 27 |
| フィリピン | 1.62 | 78.5 | 74 | 83 |
| ベナン | 7.96 | 8.5 | 12 | 5 |
| マリ | 5.90 | 17.5 | 23 | 12 |

共分散値 -86

*1:単位:一万 US\$/一千人当たりの計算は、「ODA(政府開発援助)受取額 国別ランキング・推移」単位:百万 US\$を単位:一万 US\$に換算し、世界子供白書 2023「表 I 人口指標」単位:人(一千人)で割りました。

*2:単位:%63.5 男女平均の計算は、世界子供白書 2021「表 II 教育指標・後期中等教育修了率・男、女」の平均値としました。

● 計算結果として共分散値が「-86」であり、共分散が小さい(負)ときは、Y は小さい傾向にあり、XとYにあまり関係はないと推定されます。

● できたら、この共分散値も、ご自身で一つひとつのデータや用語を理解し、実際に計算してみてください。Excel を使うので、共分散の意味を放送大学『社会統計学入門(‘18)』などを参照して理解できれば簡単に求められます。

ご自身で計算することで、さらにプラン寄付活動が、「じぶんごと」として身近に、かつ尊い行動として自信が深まるのではないのでしょうか？

● 検証として、「ユニセフ世界子供白書 2023」の「表 II 教育指標・後期中等教育修了率」の「地域別等要約」を示します。プラン寄付活動チャイルド支援国のデータと見比べてください。

| 地域 | 後期中等教育修了率 | 男 | 女 |
|----------------|-----------|----|----|
| 東アジア・太平洋諸国 | | 62 | 66 |
| 東ヨーロッパ・中央アジア | | 66 | 60 |
| ラテンアメリカ・カリブ海諸国 | | 59 | 66 |
| 中東・北アフリカ | | 42 | 44 |
| 南アジア | | 41 | 36 |

| | | |
|------------|----|----|
| サハラ以南のアフリカ | 31 | 25 |
| | | |
| 世界 | 46 | 44 |

4 「寄付をすればおしまい」ではなく、「目的意識を持って寄付をする」

ことの大切さに気づきました

こうして、「ODA 受取額」と「修了率」の関係に限ってみれば、直接「就学困難児対策」の視点からの社会貢献の関係はあまり見えてきません。

しかし、途上国の子ども支援は、「教育指標」、「人口指標」に限るものではありません。

これら以外にも、「子どもの死亡率に関する指標」、「母親と新生児の健康指標」、「子どもの保健指標」、「青少年の保健指標」、「HIV/エイズ 疫学に関する指標」、「HIV/エイズ 支援策に関する指標」、「栄養指標：新生児、就学前と学齢期の子ども、女性および家庭」、「栄養指標：母乳育児と食生活」、「乳幼児期の子どもの発育指標」、「子どもの保護指標」、「社会的養護と公平性指標」、「WASH(水と衛生)指標」、「青少年指標」、「障がいのある子ども指標」、「女性の経済的活動を促す指標」、「移住に関する指標」(いずれも、「ユニセフ世界子供白書 2023」より)が複合的に支援し合って、途上国の子ども支援は成り立っています。

プラン・インターナショナルからの、「(支援の子どもが住まう)地域の一年の歩み」レポートを見ても、子どもたちの支援は確実に成果を上げていると言えます。

私たちは、今回の実績分析を通して、「寄付をすればおしまい」ではなく、「目的意識を持って寄付をする」ことの大切さに気づきました。

なので、次年度以降、私たちは、プラン・インターナショナル・ジャパンとも十分話し合って、更に成果の上がるプラン寄付活動に取り組む考えです。短絡的に、今のチャイルド支援国をすぐに変える意味ではありませんので、ご安心ください。

また、紛争や災害による子どもたちへの緊急支援のための寄付活動も、次年度以降、支援手段(プラン・インターナショナル・ジャパンを含む)などを役員会で検討したいと考えています。

神奈川同窓会の社会貢献活動は、これからも第1の柱に就学困難児対策を掲げ、より有意義なプラン寄付活動を続けたいと願っています。

「いま、あなたにできること」、寄付活動を通して、就学困難児を一人でも救う活動に、ぜひ、参画ください。

■ 今月のお知らせ「プラン寄付活動の実績分析をしました」に対する、あ

なあなたの意見をメールでお聞かせください

「今月の社会貢献活動のお知らせ」および「同窓会の社会貢献活動」に対するご意見を、どしどしメールでお聞かせください。

私たちは、「共感」、「共有」がとても大切と思いますので、いただいたメールは、氏名などの個人情報外して、原則として『波濤 Web』の「新着記事」と「社会貢献」ページにて公開します。

いただいた投稿は、『波濤 Web』による公開と、社会貢献活動の「活動データ」として活用し、個人情報を外した「1次情報」として統計活用させていただきます。これ以外の利用は一切ありません。

■ 投稿するとき気をつけたいこと

●職務上の秘密、社会貢献活動を通して知り得た機密情報などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●事実・エビデンスが確認できない情報とその意見、根拠のないロコミとその意見、科学的であるように見えるにもかかわらず、事実・エビデンスがなく、実証や反証ができない「疑似科学」、「予言・占い」、「絶対的な宗教礼賛」、「都市伝説」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●事実・エビデンスの有無に関わらず、恣意的な推論や主張である、「陰謀論」、「宗教・政党などの勧誘」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●社会貢献活動に関係しない「ステルスマーケティングによる商品販売」、「〈推し〉の宣伝」、「イベントの宣伝」、「靈感商法・靈感診断などの勧誘」などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●特定の個人・団体への人格攻撃や誹謗中傷、差別的な内容、わいせつな内容などの情報とその意見は、投稿しないでください。

●上の5項目を含め、著しく同窓会会則に反するものは公開しません。ご理解ください。

■ メールの必須事項

●件名(全角文字 20 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)

●本文(全角文字 200 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)

家族も含め、他人のプライベートな情報を本人の了解なく公開することは止めましょう。

- お名前（公開しませんが、同窓会員本名を必ずご記入ください）
- ニックネーム（公開します）
- プロフィール（ご自身を表す言葉をご自由に。全角文字 30 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します）
- メールアドレス（公開しませんが、編集のお問い合わせのために、必ずご記入ください）
- 写真（必須ではありませんが、関連する写真があれば 4MB 程度の「JPG」あるいは「GIF」ファイルを添付いただけると嬉しいです。
人が写っている写真を投稿する際には十分注意しましょう。写真に写っている本人、あるいは他人からあらかじめ同意を得てください。公開は必要に応じて掲載します）
- 受信日は、社会貢献活動担当者が投稿を受信し、内容を確認した年月日とします。公開の投稿日は、社会貢献活動担当者が『波濤 Web』に掲載依頼した年月日とします。

■ メールの送り先

理事・社会貢献活動担当 田代和嘉 drc88890@biglobe.ne.jp

// 佐々本幹夫 sasamoto.gigi.mikio.1006@sasamotoroom.jp

- 上記のいずれかにお送りください。いただいたメールは担当で共有します
- 3月の社会貢献活動のお知らせは以上です。
4月の社会貢献活動のお知らせもお楽しみに！
3月度社会貢献活動会議議事録、3月役員会承認より記事を作成しています